

2025年5月9日

MSPパートナー各位

Arcserve Japan

『Arcserve® UDP 10.1』 および 『Arcserve® Replication / High Availability 18.0 SP3c』 リリース情報のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

最新リリース『Arcserve UDP 10.1』および『Arcserve Replication / High Availability 18.0 SP3c』をリリースいたします。
詳細は、別紙をご覧ください。

別紙 1 『Arcserve UDP 10.1』 リリースのご案内

別紙 2 『Arcserve Replication / High Availability 18.0 SP3c』 リリースのご案内

MSP パートナー様におかれましては、今後とも「Arcserve® シリーズ」の拡販にご支援賜りますようお願い申し上げます。

ご不明な点につきましては、弊社 営業部（Tel：03-4520-0640）までご連絡いただきますようお願い致します。

敬具

別紙 1

『Arcserve® UDP 10.1』 リリースのご案内

Arcserve UDP 10.1 に含まれる主な点は以下です。

拡張機能

アシュアード セキュリティ スキャン機能拡張: 復旧ポイント内でマルウェアが検出されたときに明確なステータス更新が提供されるようになりました。

- ・ 個別のステータス アイコン:マルウェアに感染した復旧ポイントに関連付けられたセッションには、通常の障害と区別する一意のステータス アイコンが表示されます。
- ・ 警告ポップアップ:マルウェアに感染したセッションからデータを回復しようとする、警告ポップアップが表示され、知らないうちにデータを復元してマルウェアを拡散することを防ぎます。

Linux エージェントの強化

新しい対応プラットフォーム

Red Hat Enterprise Linux 9.5
Oracle Enterprise Linux 9.5
Rocky Linux 9.5
AlmaLinux 9.5
Debian 12.8
SUSE Linux Enterprise Server 15 SP6

AlmaLinux 9 GNOME LiveCD サポート：

古い CentOS Gnome LiveCD は互換性がないため、AlmaLinux 9 GNOME LiveCD を使って RHEL、Alma、Rocky、OEL (RHCK)、Debian、Ubuntu バージョンの BMR サポートを有効にします。新しい Gnome LiveCD は SUSE を除く全ての古いバージョンの Linux と互換性があります。

プラットフォームのサポート

Arcserve UDP 10.1 は以下のプラットフォームをサポートしています：

プラットフォーム

Nutanix AOS 6.10
Nutanix Files 5.0.z

Arcserve UDP インスタンスを Arcserve UDP 10.1 にアップグレードすることを強くお勧めします。製品内の自動アップデート機能を利用するか、ファイルのダウンロードを行うかを選択することができます。

Arcserve UDP 10.1 に含まれるその他の機能や不具合修正は、以下のリリース ノートをご参照ください。

◇ **Arcserve UDP 10.1 リリース ノート** (2025 年 5 月 12 日公開予定)

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/10.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/Update1/default.htm

Arcserve UDP 10.1 のダウンロード方法は以下のナレッジ ベースをご覧ください。

インストーラーのダウンロードには Arcserve サポート ポータルへのログインが必要です。

(アカウントは無料で作成できます。)

◇ **Arcserve UDP 10.1 ダウンロード** (2025 年 5 月 12 日公開予定)

5 月 12 日(月)より [製品ダウンロード ページ](#)から入手いただけます。

<https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-UDP-10-1-Download-Link?language=ja>

Arcserve UDP 10.0 からのみ Arcserve UDP 10.1 への上書きアップグレードが可能です。

◆ 各ライセンス製品の価格、SKU、JAN コードについては変更ありません。

◆ MSP 様向け共有ページ

<https://www.arcserve.com/jp/arcserve-msp-partners-info>

ページにログインするためには、パスワードが必要です。パスワードはメールで別途ご案内します。

価格表・コンポーネント一覧・ライセンスキー申請フォームを閲覧、ダウンロードできます。

◆ サポート終了製品はありません。

◆ 補足

今回リリースする Arcserve UDP 10.1 は、2024 年 11 月にリリースした Arcserve UDP 10.0 のマイナー リリースの位置づけとなります。そのため Arcserve UDP 10.x のライセンスをお持ちの方は無償で適用いただけます。

・旧バージョンをご利用中で有効なメンテナンス契約やサブスクリプション契約をお持ちのお客様は無償で適用いただけます。

・Arcserve UDP 10.x で登録したライセンス キーをそのままご利用いただけます。(キーの入れ替えは不要です。)

・Arcserve UDP 10.1 は Arcserve UDP 10.0 と同じサポート ライフサイクルで管理されます。なお、「Arcserve UDP 10.x」と表記した場合は Arcserve UDP 10.0 および 10.0 の全マイナーリリース (10.1 など) が対象になります。

別紙 2

『Arcserve® Replication / High Availability 18.0 SP3c』 リリース情報のご案内

◆ Arcserve® Replication / High Availability 18.0 SP3c の主な新機能/機能拡張

本リリースの新機能/機能拡張は以下の通りです：

■ 新たなプラットフォームのサポート

Windows Server 2025 （ファイル サーバ DR シナリオのみをサポート）

■ サポート廃止プラットフォーム

Arcserve RHA 18.0 SP3c で廃止対象になったプラットフォームまたは機能はありません。

詳細については [リリースノート](#) をご覧ください。

◆ 製品ダウンロード

5 月 12 日(月)より [製品ダウンロード ページ](#) から入手いただけます。

◆ 各ライセンス製品の価格、SKU、JAN コードについては変更ありません。

◆ サポート終了製品はありません。